

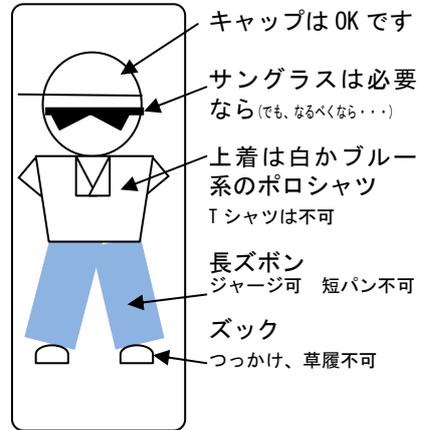
役員をしてくださる先生方に

指定された時間の5分前には必ず集まって下さい

以下の違反を見てもらいます。違反のあった場合は**内容と場所**を各「長」に報告してください。なお、不明な点も各「長」に聞いてください。

種別	違反行為	種別	違反行為	
共通	フォルススタート	背泳ぎ	15mの浮き上がり	
	コースの逸脱		タッチ (折返し・ゴール)	
	インターフェア		仰向けの姿勢・状態	
	自由形	コースロープを握る・引く	バタフライ	15mの浮き上がり
		プールの底をける		タッチ (折返し・ゴール)
		タッチ板の作動		左右対称
自由形	15mの浮き上がり	個人メドレー		手のかきと抜き
	タッチ (折返し・ゴール)			キック
平泳ぎ	水中動作 (スタート・折返し)			個人メドレー
	左右対称	タッチ (折返し・ゴール)		
	泳ぎのサイクル	リレー競	引き継ぎ	
	キック		泳法の順序	
	手のかきと手の戻し		オーダーの誤り	
	タッチ (折返し・ゴール)			

役員服装



服装について質問が多くありましたので参考にしてください。

各係の動きについて

計時

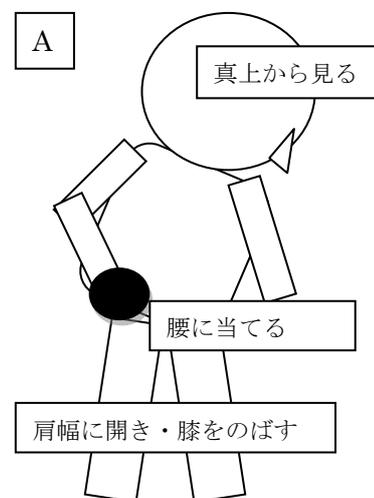
1. 審判長の笛が4回鳴ったら、ストップウォッチが0になっているのを確認します。
2. と、同時に立って3歩前に出ます。このとき、横一線に並んでいるとカッコいいです。
3. 「よーい、ポンッ」のピストルと同時にストップウォッチを押します。下図A
注意/自分のコースに選手がいなくてもウォッチは動かしてください。予備となります。
4. 泳者が残り25mくらいになったら出ましょう。走るとカッコ悪いです。
5. 泳者がタッチしたら、ストップウォッチを押します。ラップも計ります。
6. ストップウォッチと電気計時を何気なく(上は見ないふりして)見比べます。最終計時でストップウォッチが1秒以上早ければ、計時主任に報告します。ソフトタッチで機械がうまく作動していない場合があります。
7. 席に戻って次のレースを待ちます。プログラムに必ずタイムを記録しておきます。ストップウォッチを0に戻します。

【あっ、失敗だ】

ストップウォッチが動いていない

「長」に言ってください。予備のウォッチを動かしているはず落ち着いてその旨を「長」に言って代わりに計ってもらいます。

※だいたいですが、ストップウォッチのほうが電気計時よりも少し早く表示が出るようです。ですので、電気計時と同じでないからといって悲観しないでください。



折返し・泳法審判

前記の違反行為を見ます。お互いに補完することが大切です。

1. 審判長の4回の笛で立ちます。スタート側の折返し審判は、計時と同じ場所まで出ます。

スタート側になった時の折返し審判の特別な役割

- ① 背泳ぎ、バタフライ、平泳ぎのスタートの浮き上がりの確認のため15mまで見てください。
- ② リレーの引き継ぎの違反の確認(最後は機械で判定します)
- ③ 800mにおける400mのコールと700mのカネの合図
5m前からターン後初めての息継ぎぐらいまで「400!400!・・・」と連呼します。また、カネを振ります。カネは危ないので選手の真上では振らないようにしてください。(以前、カネがはずれて落ちたことがあります)
- ④ 1500mにおける500m、1000mのコールと1400mのカネの合図(注意事項は800と同じ)

2. スタートしたら

- ・スタート側折返し審判は、15mまで良ければ、その「長」に目で「よし」と念を送ります。
- ・泳法審判は、全体の動きに合わせて、プールサイドを移動しながら違反を見ます。レース終了と同時に、良ければ同じく、その「長」に目で「よし」と念を送ります。
- ・ターンサイドの折返し審判は10mくらいから見始めて、ターン終了後浮き上がりの15mを見届けて、その「長」に目で「よし」と念を送ります。

3. 違反があったら

周りの審判に相談して確認します。(と、いうことは周りの審判も見っていないと・・・)

確認できたら、すぐその「長」に報告します。その際、どこでどんな違反があったかを明確にしてください。違反報告のための用紙を参考に口頭で報告してください。

※だいたい、経験上、レースが終わったと同時に審判長は各「長」から「よし」の念を受け取り「レース成立」のサインを出してしまいますので、違反があった時点ですぐに「長」に言ってください。

※「疑わしきは罰せず」ですが注意は選手に届きますので、今後の選手の成長のためにも「長」に言ってください。

招集

選手との唯一の窓口です。この大会ではBOXがあるので、そちらでリレーのオーダーや、事前の棄権の受付をおこないますが、本来はそれらもすべて招集の仕事です。それはさておき・・・。

招集も選手を失格にできてしまうということを心に留めておいてください。

- ・組、コース、名前の確認。4~5レース前ですが、間に合えばいいです。でも、直前は・・・。
- ・水着のチェック
- ・その他、服装等での違反のチェック→違反があれば着替えさせる
- ・テーピング等が付いていればすべて取らせる
- ・帰りは上の歩廊を帰るように指示する。
- ・決勝では、補充員も忘れずにチェックする
- ・決勝で3位に入った生徒は表彰控えに来るように全体に指示する
- ・審判長の指示で選手を入場させます。(予選は前レースがスタートしたら出してください。)

以上のことを招集場所ではしなければならないので、やっぱり選手には早めに来るように指導したほうがいいですね。

※進行の度合いは招集の手腕に掛かっています。時間を見ながらお願いします。

